

縦積

テーブルのレコードを抽出して縦に統合する

◇機能

《縦積》は、テーブルのレコードを抽出して縦に統合する機能です。

名前	回答①	回答②	回答③
AAA	1 aaa	2 bbb	3 ccc
BBB	1 aaa	2 bbb	
CCC	1 aaa		3 ccc
DDD		2 bbb	3 ccc

名前を固定フィールドに指定し
回答①回答②回答③を縦積

名前	縦積フィールド
AAA	1 aaa
BBB	1 aaa
CCC	1 aaa
AAA	2 bbb
BBB	2 bbb
DDD	2 bbb
AAA	3 ccc
CCC	3 ccc
DDD	3 ccc

◇メニュー

《加工》-《縦積》

◇設定内容

縦積

テーブル名165_縦積_A000

固定フィールド

フィールド選択

縦積対象フィールド

フィールド選択

フィールド名	データ型
Day	D
Name	C
Answer①	C
Answer②	C
Answer③	C

フィールド名	データ型
Day	D
Name	C
Answer①	C
Answer②	C
Answer③	C

☒ 縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない

IF 条件

保存先

キャンセル

実行

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 固定フィールド（必須） : 縦に統合する際に固定したいフィールドを指定します。
3. 縦積フィールド（必須） : 縦に統合したいフィールドを指定します。
4. フィールドの全選択/全解除 : チェックボックスのオン／オフで、すべてのフィールドの選択／解除が行えます。
5. 《フィールド選択》ボタン : 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。
6. 縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない
: 縦積フィールドの空白レコードの出力有無を指定します。
7. 《式ビルダー》アイコン : 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。
8. IF条件（任意） : 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。
9. 保存先 : 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。
《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです
10. 《実行》ボタン : 実行します。
11. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇操作ログ

VSTACK ON [固定フィールド1] [固定フィールド2] …またはALLFIELDS “**STACK FIELDS** [縦積フィールド1] [縦積フィールド2] …またはALLFIELDS IF 条件式 **TO テーブル保存場所 OPEN**

※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。